

授業概要

授業のタイトル (科目名) コミュニケーション技術 (コミュニケーション技術)		授業の種類 面接授業 (講義・演習)		授業担当者 今道晶子	
授業の回数	時間数 (単位数) 24時間	配当学年・時期 2年次	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得し、介護福祉援助活動で活用する能力と態度が培われる。</li> </ul> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーション技術 ・介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション</li> <li>・介護におけるチームのコミュニケーション</li> </ul> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族とのコミュニケーション、相談援助の技術を習得している。</li> <li>・援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。</li> <li>・利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。</li> <li>・状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。</li> </ul>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>1 介護におけるコミュニケーション技術 …10時間 講義・演習          (1)話を聴く技法 (2)利用者の感情表現を察する技法 (3)利用者の同意と納得を得る技法          (4)質問の技法 (5)相談・助言・指導の技法 (6)利用者の意欲を引き出す技法          (7)利用者と家族の意向を調整する技法</p> <p>2 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション …10時間 講義・演習          ※プロセスレコードによる演習を行う。          (1)コミュニケーション障害のある利用者への対応 (2)高次脳機能障害に応じた技術          (3)失語症に応じた技術 (4)構音障害に応じた技術 (5)認知症に応じた技術</p> <p>3 介護におけるチームのコミュニケーション …4時間 講義          (1)チームのコミュニケーションとは (2)記録の意義と目的 (3)記録の種類          (4)記録の書き方と留意点 (5)情報の保護と管理 (6)報告・連絡・相談 (7)会議</p>					
[使用テキスト・参考文献] コミュニケーション技術(実教出版)			[単位認定の方法及び基準] 定期考査、出席状況、態度、提出物等		